

幌小っ子だより

幌別小学校教育目標

- すすんで学びよく考える子
- 互いに助けあい思いやる子
- 丈夫な体でたくましく生きぬく子

(昭和62年3月改訂)

登別市立幌別小学校

学校だより

第6号

令和6年8月23日

2学期の始まりにあたって
～時を守り、場を清め、礼を正す～

校長 松田周一

いつもより長い夏休みが終わり、8月23日(金)より2学期がスタートしました。事故なく、子どもたちの元気な顔を見ることができ、教職員も安心しております。改めて、保護者・地域の皆様に感謝申し上げます。

さて、始業式には、下のような力をつけることの大切さを話しました。

- ① 明るいあいさつ
- ② はっきりした返事
- ③ 正しい言葉づかい
- ④ 時刻を守り 整理整頓

これは、幌別小学校のホールに昔から掲示されているものです。

「昭和の教育哲学者」と呼ばれた故 森信三先生の有名な言葉に、「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉がありますが、この3大原則を小学生に分かりやすい言葉で表してきたものが上のものだと思うのです。

この3つに共通する思想は、自らを磨くだけでなく、友人や他の人を大切にする相手意識なのだと考えます。「時を守り」は、一緒に活動する自分を待つ、友達を思いやることにつながります。「場を清め」は、主に清掃の作業のことではありますが、これも、一緒にその環境で過ごす相手のため、互いに気持ちよく過ごすための行為です。「礼を正す」は、挨拶・返事・丁寧な言葉をつかうということです。「人とよりよい人間関係をつくる」ことになります。

毎日の学校生活の中には、いろいろな出来事や場面があります。幌別小学校が伝統的に大切にしてきたこれらのことを、様々な活動の中で、子どもたち自身が意識し行動することが、自分を育て、人と結びつき、未来を豊かにすることに繋がります。学校でも、継続して指導してまいりますので、ご家庭でも、お言葉を掛けていただけると幸いです。2学期もよろしくお願いいたします。

幌小ニュース

～オリンピックが終わって～

パリオリンピックが閉幕しました。日本人選手の多くの活躍について記憶も新たなことだと思います。これから行われるパラリンピックも含め、このアスリートの祭典の中で、メダルや記録以外に、その精神、命の輝き、連帯感、フェアプレー精神、生きる意味、それまでの努力……。そのようなものが子どもたちの心に刻まれていれば良いと心から思っております。